

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	情報通信学部情報通信学科		留学時学年	3 年
留 学 先	国	カナダ	大学/機関	ブリティッシュコロンビア大学
期 間	2026年3月2日 ～ 2026年8月22日			
	中期		計 6ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 473 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：DISCOVER400 projects DISCOVER400 Integrated Skills EAP400 Reading And Writing EAP400 Speaking And Listening EAP450 Reading And Writing EAP450 Speaking And Listening

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9 時～13 時	○	○	○	○	○	○	Free
8:30～12:00	○	○	○	○	Free	Free	Free
13:00～14:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

クラスは日本人が約 8 割を占めており、残りの約 2 割はイラン、中国、台湾、韓国などから来た学生で構成されていた。担当の先生は英語で授業を行い、英語を使ったコミュニケーションを重視した授業だった。授業では教科書を中心に学習し、Cambridge などのオンライン学習サイトを利用したほか、先生が用意したプリントも使用した。文法や語彙などの基礎的な学習だけでなく、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングなど、さまざまな技能をバランスよく学習した。

また、ペアワークやグループワーク、クラス内での発表など、実際に英語を使ってコミュニケーションを取る活動も多かった。特に、異なる国籍の学生と英語で意見を交換することで、英語で自分の考えを伝える力を身につけることができた。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

授業がない週末には、バンクーバー市内の観光や買い物、友人との食事などをして過ごした。特に、近くにある Queen Elizabeth Park には何度か訪れ、自然の中を散策したり、景色を楽しんだりした。また、滞在中にはサッカーのワールドカップの試合を観戦する機会があり、実際に現地のスタジアムで試合を観戦した。海外で大きなスポーツイベントを体験することができ、非常に印象に残っている。そのほかにも、バンクーバー市内の観光地を訪れたり、友人と街を散策したりするなど、授業以外の時間も積極的に外へ出て、現地の生活や文化を楽しむようにした。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

UBC のキャンパス内にあるジムをよく利用した。授業が終わった後や時間があるときにトレーニングを行い、留学中も普段の運動習慣を続けることができた。

また、授業や課題のためにキャンパス内の学習スペースも利用した。大学の施設を実際に利用することで、UBC の学生生活を体験することができた。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 ____ 1 人で使用

様子：静かで快適。広さも十分。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

さまざまな国から来た学生と友達になり、一緒に観光したり食事をしたりできたことが楽しかった。日本ではあまり関わる機会のない国の人とも英語を使って交流することができ、それぞれの国の文化や考え方を知ることができた。

また、バンクーバーの自然や街並みを実際に体験できたことも印象に残っている。Whistler や Victoria などにも行き、日本とは異なる自然環境や文化を楽しむことができた。

授業で学んだ英語を、学校の外で実際に使って相手に伝わったときには、自分の英語力の成長を実感することができた。

● 苦労したこと：

留学当初は、ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることや、自分の考えを英語ですぐに伝えることに苦労した。特に、授業中のディスカッションでは、自分の意見を英語でまとめてから発言しようとする则会話についていけなくなることがあった。

また、日本とは異なる生活環境の中で長期間生活することにも慣れが必要だった。しかし、分からないことがあっても積極的に質問したり、間違いを恐れずに英語を使ったりすることを意識することで、徐々に対応できるようになった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

6 ヶ月間、月曜日から木曜日まで毎日英語の授業を受け、授業以外でも英語を使う環境で生活したことで、英語を聞くことや話すことに対する抵抗感が大きく減った。

特に、以前は英語で話す際に文法を考えすぎてしまうことが多かったが、留学後は多少間違っていたとしてもまず英語で伝えてみようという意識が身についた。また、日常会話で使われる表現や、教科書だけでは学びにくい自然な英語表現を身につけることができた。

2) 専門知識の向上：

今回の留学では英語を中心に学習したため、情報通信分野などの専門知識を直接学ぶ機会は多くなかった。しかし、英語で資料を読んだり、プレゼンテーションを行ったりする経験を通して、将来専門分野を英語で学ぶための基礎的な力を身につけることができた。

今後、情報通信や AI などの専門分野を学ぶ際にも、英語の論文や海外の資料を読むための力として今回の留学経験を活かしたい。

3) 自己成長など：

6 ヶ月間日本を離れて海外で生活したことで、自立する力が身についた。生活の中で問題が起きた際にも、自分で状況を判断し、必要な情報を調べたり、人に質問したりして解決する経験が増えた。

また、異なる文化や価値観を持つ人と生活・交流することで、自分とは異なる考え方を受け入れる柔軟性も身についた。以前よりも積極的に人とコミュニケーションを取るようになり、新しい環境に挑戦することへの不安も少なくなった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学をするなら、できるだけ日本人だけで集まらず、現地の学生や他の国から来た学生と積極的に交流することをおすすめします。

最初は英語がうまく話せなくても、間違いを気にせずに話すことが大切です。授業だけで英語を使うのではなく、買い物やレストラン、友達との会話など、日常生活でも積極的に英語を使うことで、実際に使える英語力が身につきます。

また、留学前に最低限の英語の基礎を勉強しておく、現地での学習がより楽になります。特に、自分の意見を簡単な英語で説明する練習をしておく、授業のディスカッションなどで役立ちます。

6 ヶ月という期間は長く感じますが、実際に生活してみるとあっという間です。最初から完璧な英語を話そうとせず、失敗を恐れずに行動することが、留学を充実させるために一番大切だと思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	0
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	249940円
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費・ホームステイ代など）	1358360 円
4	教材費		90000円
5	保険代		69600円
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		330000円
7	個人的な買い物		300000円
8	その他（ 海外現地手配料金 ）		17400円
9	留学に関する費用（1 から 8 の合計）		2415300 円
10	受給した奨学金（奨学金名：東海大学国際交流奨学金 ）		270000円
11	留学に関する費用総額（上記 9 から 10 を引いた額）		2145300 円



